



三興運油株式会社

SANKO UNYU CO., LTD.



島国日本に於いて国内のライフラインを担うこの仕事に

わたしたちは誇りを持っています。



SANKO UNYU CO.,LTD
Since1961.02.28 60th Anniversary

社長あいさつ

当社は、先代である父・頼嗣(ひでし)が、義兄と地元の有力者の三人で広島県三原市に油を運ぶ会社を興したことに因んで社名を三興運油株式会社として昭和36年に起業しました。

社名に油を運ぶ会社とあるように石油製品の海上輸送に特化した会社であり、昭和36年05月に油槽船「第八山商丸(270.88総噸、500KL積)」を建造して以来8隻の内航タンカー、3隻の外航ケミカルタンカーの建造、9隻の内航タンカー買船、3隻の内航タンカー船舶管理と白油・黒油・アスファルト・ケミカルと石油類液体貨物を国内外で輸送する業務を行い現在に至ります。



平成7年4月に先代より代表取締役を引継いだ私、土井秀一も昭和36年10月に誕生し、この会社と共に成長してきたことから、今は現役を退きましたが過去に在籍した乗組員から可愛がっていただきました、

自分が年を重ねるにつれて先輩乗組員が少なくなり、代わりに同年代、そして自分の子供よりも若い乗組員が大半を占めてきた現在だからこそ「乗組員は家族であり仲間であり共に助け合う同志」であるという先代の教えを守り、当社の企業理念である

- ・「関わる全ての人が幸せになること」
- ・「働く人を生かすこと」
- ・「社会責任を果たすこと」

の考えを今後この会社を引継いで行く次世代にも継承してもらい、今後迎えるであろう業界編成や船腹減少と言う荒波を「顧客に安心と信頼を持って頂ける会社」として歩み続けていきます。

三興運油株式会社
代表取締役 土井 秀一



会社案内

商号 三興運油株式会社 (さんこううんゆ かぶしきかいしゃ)

住所 本社：〒247-0014 神奈川県横浜市栄区公田町 931 番地 61

事務所：〒236-0043 神奈川県横浜市金沢区大川 7-1-322 号

連絡先 TEL：045-782-8095 FAX：045-782-8096

設立 昭和 36 年 2 月 28 日

資本金 1,000 万円

代表 代表取締役 土井 秀一

従業員数 陸上：2 名 海上：33 名 (2023 年 06 月 01 日現在)

所有船舶 三興丸 (さんこうまる) 3,906.00G/T 6,000KL 積み 白油船 竣工 2019 年 03 月 04 日

船級 Class NK
船籍港 横浜
航行区域 沿海区域
最大定員 15 名 (2 室女性専用室完備)
常用人員 11 名
主機関 赤阪 6UEC33LS 最大 3,400kW
推進器 CPP
舵の種類 フラップラダー




管理船舶 りんどう丸 (りんどうまる) 3,854.00G/T 6,000KL 積み 白油船 竣工 2015 年 10 月 21 日


船級 Class NK
船籍港 今治
航行区域 沿海区域
最大定員 13 名
常用人員 11 名
主機関 マキタ 5303PS 最大 3,900kW
推進器 FPP
舵の種類 シリングラダー



企業理念

 関わる全ての人が幸せになること

 働く人を生かすこと

 社会責任を果たすこと

乗組員在籍状況

当社運航船には全国各地から船員が集まっており、出身校や前職も様々です。当社では船の仕事をしたいという強い気持ちを持ち、一生懸命に働くことを第一に考えていますので、免状の有無や経験の有無等問いません。タンカーでの仕事は学校や一般社会では学ぶことの出来ない専門分野になりますので、誰もが知識がないところからのスタートとなります。若い船員も航海士や機関士に昇格することが出来るチャンスがありますので、是非頑張ってください。

出身校実績

海技大学校
国立小樽海上技術学校
国立館山海上技術学校
国立宮古海上技術短期大学校
国立清水海上技術短期大学校
国立波方海上技術短期大学校
宮城県水産高等学校
山形県立賀茂水産高等学校
小樽水産高等学校
福岡水産高等学校
一般高校・一般大学 etc

前職

タンカー
他商船
漁船
レストラン
一般企業
海上自衛隊
その他

海技免状

2級海技免状(航海)	0名
2級海技免状(機関)	0名
3級海技免状(航海)	2名
3級海技免状(機関)	3名
4級海技免状(航海)	17名
4級海技免状(機関)	8名
5級海技免状(航海)	1名
5級海技免状(機関)	0名
6級海技免状(航海)	1名
6級海技免状(機関)	0名

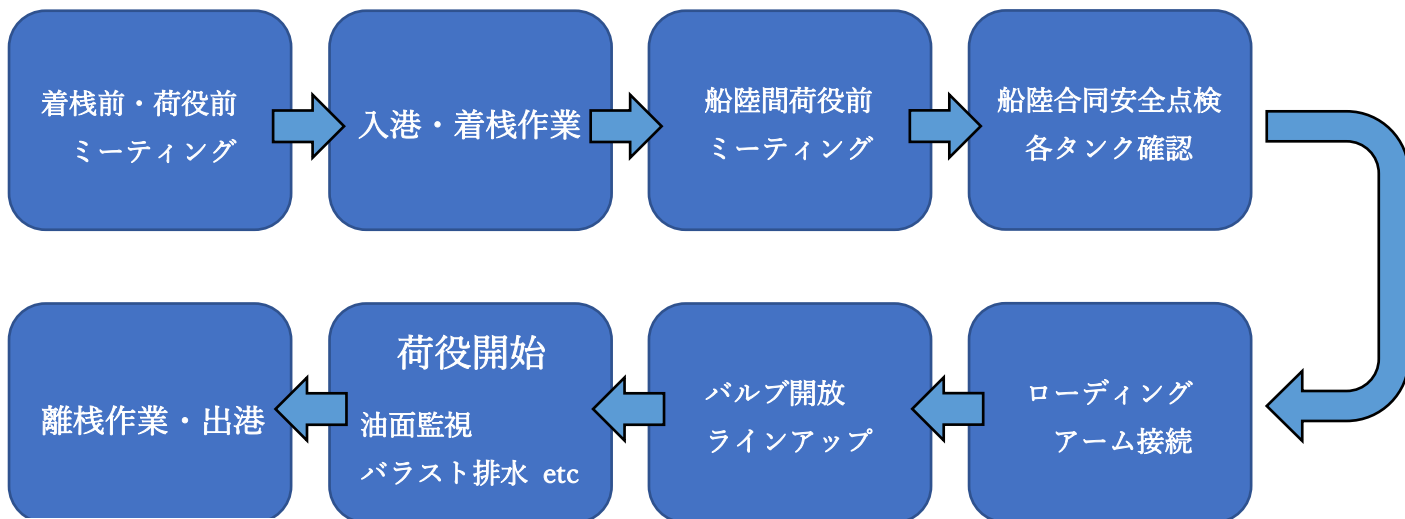


わからないことや聞きたいことがありましたら採用担当までお気軽にお電話ください☎
三興運油マリタイム(株)(船員派遣業許可所有)
船舶部長 土井秀嗣 TEL045-342-4664

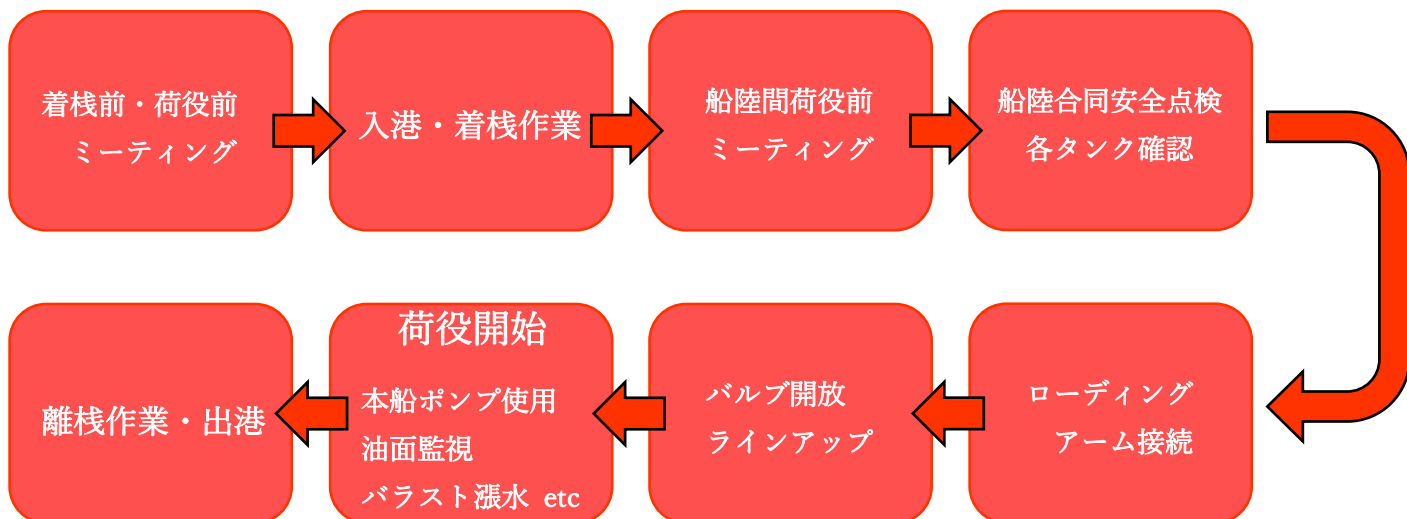
業務内容

当社運航船はタンカーとなる為、船を安全に航行させることに加えて、製油所や油槽所に於いて油を積み揚げする荷役作業を行います。入社する前にはなかなか知識を得ることが出来ない専門分野となりますが、先輩たちが取り扱いを教えてくださいますので、ご安心ください。

積み荷役



揚げ荷役



荷役作業を実施する為には製油所や油槽所の棧橋に着棧することが必要です。着棧時には荷物が積まれた状態(満船)と積まれていない状態(空船時)に於ける本船の運動性能を踏まえて船首、船尾、船橋のコミュニケーションを良好にして「減速・一旦停止・平行着棧」の着棧三原則を厳守して着棧します。

荷役に於いては荷役責任者を中心に混水や混油、漏油に注意して荷役を行います。主に車のガソリンや軽油、ストーブ等に使用される灯油を運んでおり、国内のライフラインを支えています。



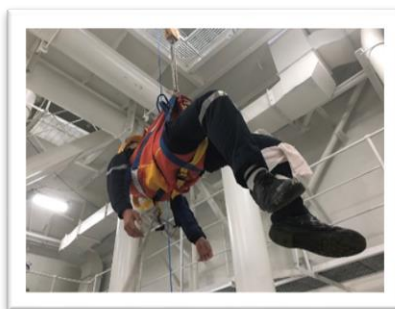
船内生活

乗船中は約3ヶ月間船内生活を仲間と共にしますので、日々の仕事に取り組むことは勿論ですが、いかに上手にフレッシュをしながら生活を送るかがとても大切になります。

当社には20代から60代まで幅広い年齢層の方が所属しており、住まいも北海道から九州まで様々ですが、船内でのコミュニケーションは良好に行われており、和気あいあいとした雰囲気の中で船内生活を送られています。

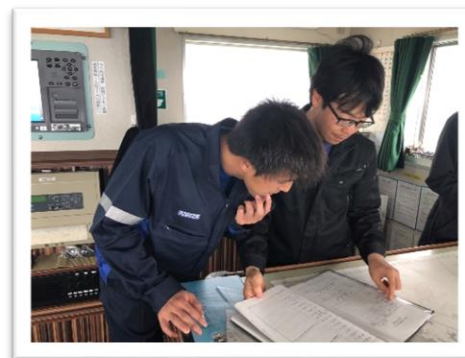


危険物を取り扱う仕事の為、日々の訓練や勉強会が非常に重要になります。全員が業務内容を十分に理解していなければ大きな事故に発展する危険性が高まる為、若年船員からベテラン船員まで一人ひとりが真剣に取り組んでいます。

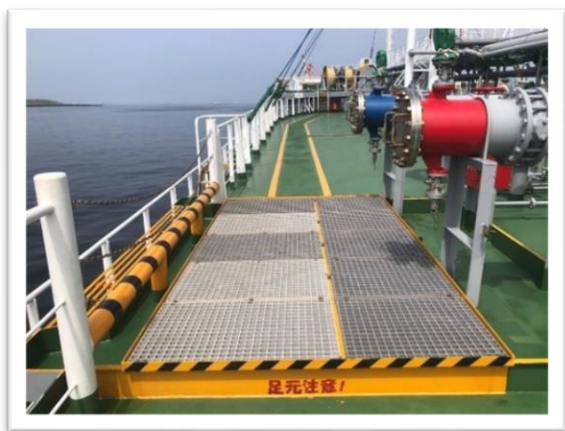


当社ではBRM講習やWEB教育の実施、上職者へはECDIS講習や消防実習訓練への参加等、船員としての知識や資格を得ることが出来る環境を整えています。

また、20代30代の船員が多く在籍していますので、入社してから業務内容やわからないこと等を聞きやすい環境にあることも若年船員には魅力の一つになっています。タンカーは航海だけではなく荷役に関する知識も必要になりますので、臆することなく積極的に先輩に聞き、知識を養ってください。

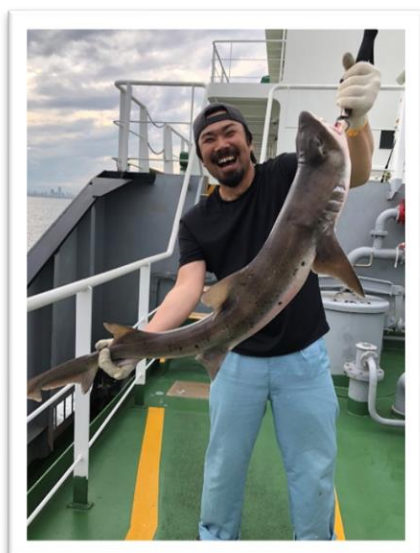
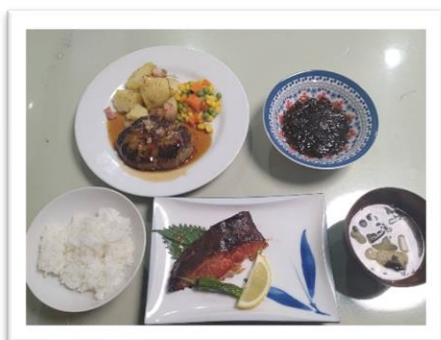


船内の業務は船を動かすことや荷役作業だけではなく、荷役作業を行う上で事故やトラブルが発生しないよう、配管、バルブ、各機器のメンテナンスや錆止め、ペンキ塗り、事故に発展する可能性のある危険箇所に対して表示を行う等多岐に渡ります。「自分たちの身は自分たちで守る」という認識のもと、日々メンテナンス計画を立てて、安全運航に取り組んでいます。



常に潮風に吹かれ、潮を被っている船にとって錆は大敵です。普段から錆を見つけたら錆を取り除いて錆止めを塗り、その上からペンキを塗ることで錆の広がりを抑制します。梅雨時期や寒い時期にはペンキの塗りが悪くなりますので、タイミングを見てメンテナンスを行っています。

その他、船内清掃や整理整頓は日々行い、快適な生活を送ることが出来るようにしています。



船内生活での一つの楽しみが食事です。各船には調理専門の司厨長が乗船していますので、毎日三食栄養バランスの取れた美味しい食事が提供されます。日々の運航では体力を使いますので、食事は欠かせません。

和食、洋食、中華等様々な料理が提供され、全国各地で食材を調達する為、名産品や美味しい魚を食べることが出来ることも魅力です。また、アレルギー等がある場合には事前に司厨長に伝えることで考慮した食事が提供されますので、ご安心ください。誕生日には会社から大きなケーキでお祝いすることもあります。また、海上にいる為、釣り好きの人が釣った魚が提供されることも楽しみです。船内ではWi-Fi環境が整備されていますので、連絡等を取ることも可能ですし、電波の良いときには動画や映画等をダウンロードしておいて観ている船員もいます。

船は定期的にメンテナンスや検査の為に造船所に入渠します。通称“ドック”と呼ばれることが多いのですが、ドックに入る際には運航中に船底に付着した貝等を取り除き、外板に塗料を塗ったり、主機関や補機、ポンプ等の荷役関係機器等を各メーカーによってメンテナンスする時間に充てます。その際に乗組員は本船で出来る範囲の甲板上の整備作業や機関部のメンテナンス作業をそれぞれ行います。

Before



After



この船は以前管理していた 26 歳の船ですが、外板を塗装するだけでも見違えるように綺麗になります。船底や外板、プロペラや舵を綺麗にすることにより、主機関への負担が軽減され、また水の抵抗が軽減される為、船速が上がり運航効率も上がります。



運航中は仮バース中であっても船番を必要としますので、入渠中は唯一全員で会食をすることが出来ます。船も労り、乗組員も労わることでまた全員で頑張ろうと思えます。

その他、船内での様子や会社が行っていること等陸上スタッフが定期的に Facebook に投稿していますので、ご覧ください。

facebook





SANKO UNYU CO.,LTD
Since 1961.02.28 60th Anniversary

わたしたちは誇りを持って働くことの
出来る仲間を求めています。



三興運油株式会社

SANKO UNYU CO., LTD.

2023.06.01

会社 HP : <https://sankogroup.co.jp/>

